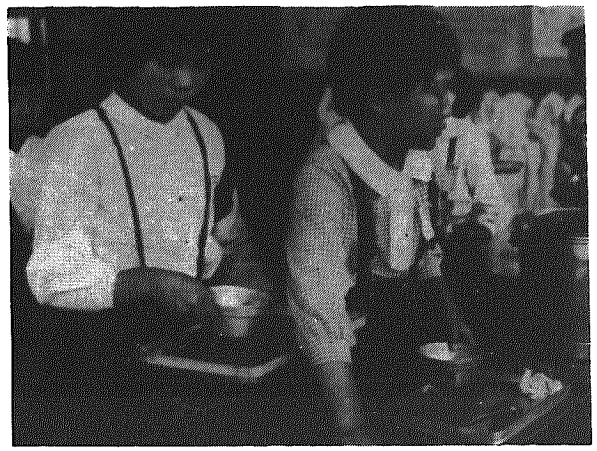
間小にも完全給食

給食を通じ地域全体の食生活改善も期待される

学校給食は、日常生活における食事について、正しい理解と望ましい習慣を養い、学校生活を豊かにし明るい社交性を養う……教育上重要な課題になっており、マスコミにも、小麦粉の国庫補助打切り、クロくなるパン、スズラン給食と紙面をにぎわし、学校給食は学校教育上欠くことのできない一面となっている。二学期より間瀬小学校にも完全給食が実施されることになった。いままで、ミルク給食を実施していたが、この完全給食により、学校全体の児童の社交性の向上、児童を通じて、家庭の食生活を改善し、間瀬地域全体の食生活改善に寄与すると地元住民より期待されている。この完全給食は数年来希望されていたものと、学校施設については、地域差なく、教育上必要なものは、財政難でも予算化し実現する観点に立って建設されるもの、総予算一一二万七千円で、現在の家庭科教室を改造、調理作業の能率化、食中毒予防などに万全の留意が設計され完成が待たれている。



間瀬簡易水道＝新給水幹線も完成

渇水期の水源確保に努力

生活に欠くことのできない〝水道〟に、バケツを手にして坂道をもらい水、そして時間給水と多くの村民がイライラのしつづけだったが、ことしの夏は、高台の家もある程度水はOK と、水の供給には明るい見通しを立てている。

間瀬簡易水道――毎年夏場になると、使いたくても思うように出ない〝水道〟スカイライン開発によっての、水源池が破そんされ〝さっぱり出ない〟〝水道〟に、バケツをもらい水、

家屋の新増築したら まず届け出を!!

固定資産に移動を生じた場合毎年実態調査を行ない評価することになっております。特に家屋については基礎部分から附属設備まで明細に調査しなければなりません。ご迷惑と思いますが、宜しくご協力下さるようお願い致します。なおお手数でも届け出用紙を税務課職員（二～三人）

調査期日は回覧板などによりお知らせします。

調査担当税務課職員（二～三人）

納税相談はいつでも 気軽に窓口へ

村で課する地方税（住民税、固定資産税等）の財源が村行政の推進母体でありその原動力として重要な役割を果しております。

常に税行政が公平をモットーとして運営することが円満な諸行政に結びつくものと思われます。みなさんのお手許には、すでに昭和四十三年度分にかかる諸税の納税通知書が配布され、それらにかかる課税内容の誤りなどを早く知り賦課に万全を期するため六月下旬の三日間、納税相談日を設け、直接相談を受けてまいりました。申出件数は三十九件相談日以外十八件であり、みなさんの意あるご理解を戴き、それぞれ了解処理をいたしました。今後も村民各位のご協力を戴き極力調査の徹底を計り公平な課税と円滑な納税がなされるよう研鑽努力いたしたいと思います。なお税務課の窓口では常に納税相談に応じておりますから気軽においで下さい。

とうしを立てている。

「ホントかしら……」と台所に立つ主婦は半信半疑だが、水道課では給水パイプの取り替え、水源池の新設などで以前よりは緩和されるとのこと。

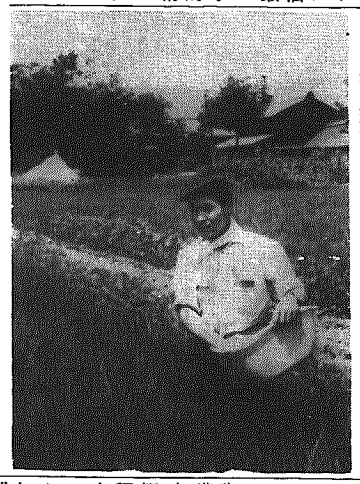
しかし、新潟平野の沃野をうるおす大河、信濃川でも減水する。この日でり続き、山の浅い多宝、弥彦の山岳から、人口のふくらむこの地区に充分にありあまる水を供給する。水資源確保は困難……ウムなことは言っていられません。水道課では、限度のある水資源を更らに見つけ出そうと研究している。

日本を発展させ――アジアをつなぐいしづえ…に

東南アジア七ケ国訪問『青年の船』船団員名簿に 長谷川君

政府は四十三年度の『青年の船』に乗船して東南アジア七ケ国を訪問する団員二七二人を発表したが、その中に、長谷川秀雄君21才（津雲田、長谷川敏雄さんの長男）が各種農業クラブ活動の実績が認められ、一員に選らばれた。この事業は明治百年記念として日本の青年を『青年の船』に乗船させ規律ある団体生活を通じて、青年の心身を鍛練し、各国青年との交歓、日本文化の紹介、視察見学することによって、国際的視野を広め、国際協力の精神を涵養し、青年に日本の姿を正しく理解させ、次代をになう中堅青年の育成を図ることを目的とし七月二十二日より、事前研修したあと、九月二十七日出発、中華民国、フイリッピン、タイ、シンガポール、マレイシア、インド、セイロンの各国を訪問して、十月二十日帰国する。同君の帰国後の農業青少年に与える力も大きいと期待されている。正式に通知を受けた長谷川君は、喜びと共に、選らばれた任務の重大さにきんちょうした態度で、

『……本当ですか信じられません。いつか外国の青年と話し合い、私達のおかれた立場を理解したかった。与えられたチャンスは充分に活用したい。いろいろ学び取ってきて、視野を広げ、良い面を得、悪き面を捨て、皆さんのために尽くしたい。そして日本を発展させ、アジアをつなぐいしづえとなる……』と抱負を語っていたが、出発までに、晩性の稲刈が残るだろうかそれが心配ですと、家庭のことも心配がんばれ長谷川君する好青年



一位に一万円

五石賞は村長盃（大型銀盃）

米多収穫競作会要領きまる

今年も昨年に続いて四年連続の豊作が予想されている。各農家では昨年以上の成績を上げようと最後の仕上げに懸命な努力があらわれている。

米百万トン達成運動に呼応して、岩室村米多収穫競作会を次の要領で実施しますを受けているので、これを和納、岩室農協単位で一坪刈りの予選を行ない、各農協から、それぞれ上位十五点を選抜する。

。上位十五点（合計三十点）を九月一日、三坪刈りによって順位をきめる。

。審査の公平をはかるため刈り取った稲は役場へ運搬し、一個所で脱穀調整する。

。一等賞一人　一万円
。二等賞三人　五千円
。三等賞八人　三千円

。七百五十点以上の者には村長盃を贈る。くわしいことは、農政課または農協へ問合せ下さい。

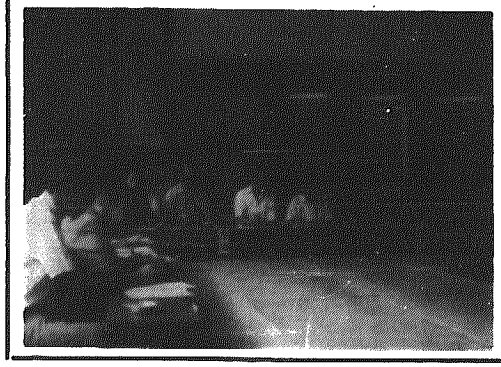
米つくりは、穂が出てから刈り取るまでの管理が最も大切。チョットの油断で春以来の苦労が水泡に帰すことが多くあります。水管理、肥料、病害虫に充分注意して下さい。

米多収穫競作会実施要領。すでに農協を通して申込

岩室局は 953―01 自分の住所にも書きましょう

公開してほしかった 郷土先賢遺墨展

岩室、吉田、分水、寺泊、弥彦、隣接町村の文化財保護関係委員が七月十六日岩室役場に会合し、滅びゆく郷土の文化財の保護対策と調査についても協力して、広域調査をやろうと話し合った。これらの広域調査によって、この周辺の秘められた歴史も明るみに出ると期待される。この席上、岩室村と関係のある人達の、郷土先賢遺墨展が展示された。本間翠峰、山岸瓊石の遺墨が展示され、この人達は年配の村民とは親しく交際された賢人で、まだ面影も残っている村民もいると思われ、広く広開されたらと惜しまれているが、展示書跡の貴重さ、展示施設会場の不備関係でお目にかかれなかった。これだけの書跡を集めた関係者の努力と勇気は大きく称賛されている。展示された一人、本間翠峰は樋曾に生まれ、墨画の才能を惜まれ、三十七才で亡くなった。この青年画家、赤貧に甘んじ村々で酒食を乞い、気がむくと礼に画を書いて与えたといわれ、その画が現在岩室温泉を世に広めた草莽の国学者高島正興の遺作も展示されたが、この人達が現在の岩室村の今日の発展に与えた影響は大きい。



村に流出され、いつかこれらの書画が村民に深く理解され脚光を得ることだろう。その他三根山藩主の師として尊敬された菅井甘露（石瀬、金泡、泉（弥彦村）

間瀬 七月二十一日は 人と車で一大過密都市

半月前までは、人影もまばらな間瀬海岸、土用入に入った二十一日、間瀬の海に訪れた人、三万人、バス乗用車の台数も一五〇〇台と推定され、〝オラ、ぶったまげた、こんげ、ぎょうさんひとさまみたの……〟

車と人とで間瀬は一大過密都市――

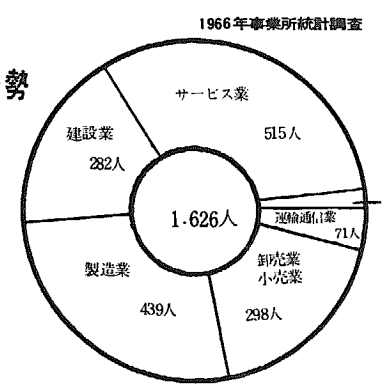
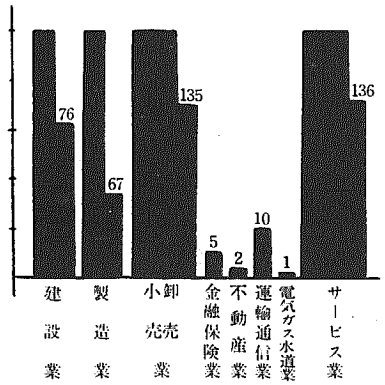
駐車場にあふれた車は、海岸、道、それでもあふれた車は民家の庭先へ『すみませんが、この車どかして下さい。玄関から外に出ることができん……』こんな言葉も、あちこちで聞かれた。

将来、海岸道路、スカイラインで発展する間瀬『部落の半分は駐車場にしなければ……』こんな言葉も真剣に考えなければならない時代だ。

目でみる村勢

産業別従業者（非農林水産業）

1966年事業所統計調査



産業別事業所数